伊賀市土地利用審議会 会議概要

1. 審議会名 令和5年度第4回伊賀市土地利用審議会
2. 日 時 2024（令和6）年2月26日午後1時30分～午後2時30分
3. 会 場 本庁舎会議室、リモート
4. 出席委員 5名中4名（委員名簿非公開）
5. 事務局 山本建設部長、川部都市計画課長、城都市計画課開発指導室長、
中森主査、大門主査
6. 公開・非公開の別 非公開
7. 非公開の理由 伊賀市情報公開条例第24条第1号（非公開情報が含まれる事項
についての審議、審査、調査等については非公開）の規定による
8. 会議概要作成年月日 2024（令和6）年3月26日

○ 事 項

- 1 あいさつ
- 2 委員・事務局の紹介
- 3 会長の選出
- 4 審議

議事 伊賀市の適正な土地利用に関する条例に基づく特定開発事業の認定について
審議案件（1）伊賀市安場地内 事務所（学習施設）

- 5 その他

○ 審議概要

審議案件（1）伊賀市 安場 地内 （用途）事務所（学習施設）

審議案件（1）について説明に対する委員からの意見等

- 農地転用の手続きは進められているのですか。
回答：農地転用の手続きは農振農用地の除外後に行われます。また、農地転用許可の見込みがあるため、農振農用地除外の手続きが進められています。
- 都市計画法に基づく開発許可は必要ですか。また、現状の敷地を生かしているため、あまり切り盛りはしないものと考えられますが、いかがですか。
回答：都市計画法に基づく開発許可が必要となります。造成は地ならし程度で、切り盛りは30cm以下とのことですが、農地から宅地へと地目が変わることから、開発許可の対象となります。

- 施設は不特定多数の利用者が想定されますか。また、子どもや学生も利用できる施設ですか。

回答：展示室もあり、一般開放されますので、子どもや学生の利用も見込まれます。

- 計画建物には車椅子のスロープがありますが、建物までの経路に階段があり矛盾しているように見えます。バリアフリー化を図るためには、階段横にスロープを設置するなど敷地内でもバリアフリーが必要ではないでしょうか。

回答：配置計画について流動的であるため、今後具体的に設計を進めるにあたり車椅子の通行ルートなどを考慮し、より使いやすい配置となるよう事業者が考えると聞いています。

審議案件（1）の特定開発事業認定に対する審議会意見まとめ

特定開発事業を認定することは適当である。

以上